



## 会員の皆さまへ



経済学部同窓会長 住野 公一

皆様、こんにちは。

我々立命館大学経済学部同窓会は常にどうすれば会員の皆様に喜んで頂けるか、在校生の皆様のお役に立てるか、そしてそれが母校経済学部の発展に寄与出来るかを考えて活動しております。

もう新型コロナウイルスが蔓延して丸2年、今までは同窓会活動を企画する幹事会を皆で集まって対面で行なっていましたが、それがオンラインになりました。そしてオンラインになって良かった点にも気がつきました。今まであまりよく考えずに当たり前のように草津に集まって幹事会をやっておりましたが、オンラインでやりますと遠方の方々の参加が容易になるという良い点も見えてきました。また、2020年度・2021年度は講演会もオンラインで実施しました。

このように経済学部同窓会はどんな形になっても同窓会活動を継続して参ります。どうかこの同窓会活動の火を消さないためにも、皆様のご参加とご支援をお願いしたいと思います。

## 学部長退任のご挨拶



経済学部長 河音 琢郎

新年度を迎えるにあたり、同窓会会員の皆様におかれましては日頃より経済学部に温かいご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

一昨年度から続くコロナ禍において、同窓会からは、経済学部、大学院経済学研究科の学生・院生を支援すべく、多額の御寄付を頂戴いたしました。同窓会からいただいた御寄付は、オンラインでの授業を受講する学生、院生の、コンビニでのコピーサービスの無料での提供という経済学部独自の学びの支援措置として活用させていただきました。また、全学にて実施した総額25億円にのぼる「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援」に対しても、多くの同窓会会員の皆様から心のもった御寄付をいただきました。これらの御寄付については、アルバイト収入等の減少にあえぐ学生に対する経済的支援措置をはじめとして、コロナ禍の厳しい折、学生が学び続ける上で多大な支えとなっています。

また、同窓会との共催で毎年1月初旬に2日間にわたって経済学部生のキャリア形成企画として取り組んでおります就職活動応援企画、通称メントレも9回目を迎え、コロナ禍にもかかわらず約60名の同窓会員の皆様に講師としてご参加いただき、オンラインでの実施という異例の試みでしたが、成功裏に進めることができました。

昨年11月に開催された同窓会講演会においても、コロナ禍でのオンライン開催という制約された状況にもかかわらず、経済学部の現役学生にもお声がけいただく中で、多くの会員が参加され盛会となったことに改めて敬服いたしました。現今の大変な時代であるからこそ、若い世代をも巻き込んだ社会的ネットワークとしての経済学部同窓会の存在意義を痛感しております。

なお小生は、今年3月末をもって学部長の任期を全うし、4月からは高屋和子教授が新しい経済学部長として経済学部を担います。3年間皆様からいただいたご支援にこの場を借りて深謝申し上げます。引き続き厳しい局面が続くことかと思いますが、会員の皆様方がご健勝に過ごされることを心から祈念しますとともに、経済学部と後輩である学生諸君になお一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。年度替わりの挨拶とさせていただきます。

## 新学部長のご挨拶



新経済学部長 高屋 和子

この度、次期学部長（2022～2024年度）の任を務めることとなりました、高屋和子と申します。同窓会の皆様には、常日頃より、経済学部の教学、現役学生の成長に一方ならぬご協力とご支援を賜り誠にありがとうございます。

私自身は2005年に経済学部にて専任講師として着任以来、18年目になります。この間、海外教育プログラムの実施や、同窓会の皆様からの多大なご協力を得て今や経済学部の看板企画となったメントレの実施では企画担当副学部長として、経済学部70周年企画では事務局長として携わらせていただき、同窓会の皆様からのご支援を身に染みて感じて参りました。また、この長引くコロナ禍において、ネットプリントサービスへのご支援や、本学の「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援」に対しても、多くの同窓会会員の皆様から温かいご支援をいただき、活動が制限され、web授業や対面も取り混ぜたハイブリット授業等今までにない状況に戸惑う学生、教職員ともども、勇気づけられ、学生の学びを継続する大きな支えとなりました。改めましてこの場を借りて御礼申し上げます。

依然としてコロナ禍の終息が見通せませんが、この間培った経験をもとに、引き続き学生・院生の教育指導に努めて参る所存です。また、これまでを基礎に、より一層、同窓会の皆様と本学部との連携を進展させ、学生・院生、教職員と同窓生の皆様との交流をより有意義なものとするべく、尽力して参ります。同窓会の皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、何卒引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学経済学部事務室内  
TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947  
E-mail:ecalumni@st.ritsume.ac.jp  
同窓会 HP : <http://r-ecalumni.com/>



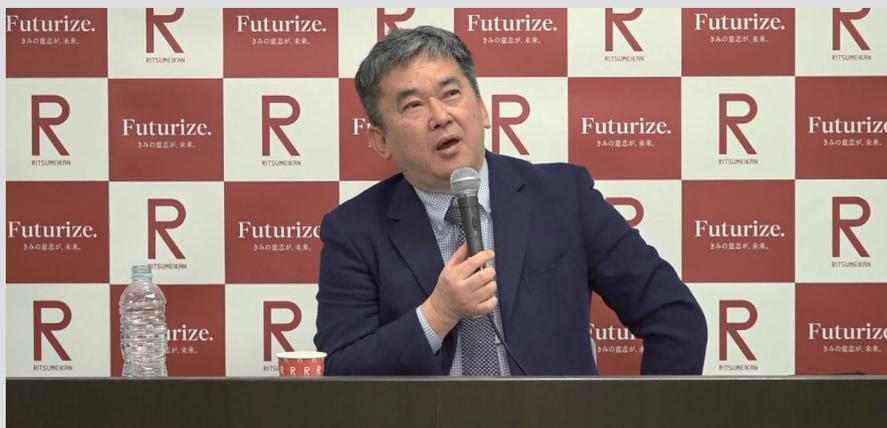
## 経済学部同窓会講演会を開催！

立命館大学経済学部同窓会では、毎年恒例の講演会を11月6日（土）、立命館東京キャンパスからの生配信にて開催しました。コロナ禍の影響により、対面ライブ型での開催が困難であることから、経済学部同窓会としては、昨年度に引き続いて二度目のオンライン開催となりました。

今年度は、小説家の真山仁氏より、「ハゲタカ」視点で見る日本経済 なぜ、日本には自由経済が徹底されないのか」をテーマに、ご講演をいただきました。

真山氏はまず、講演会冒頭で、日本が資本主義国家ではあるものの、独特の資本主義国家として成長してきたのではないかとことを指摘、そのうえで戦後からの日本経済の動向を振り返りながら、自由経済が日本で徹底されない要因について、社会・文化的な側面から解説されました。特にバブル崩壊後の自由経済の流れ、その本質まで掘り下げての解説は、非常にわかりやすく、理解が深まるものでした。出版秘話をはじめ、県民性の話も飛び出し、関西弁を交えながらの巧みな話術に、皆さん、どんどん引き込まれていかれたのではないのでしょうか。講演会の最後には、欧米諸国とは異なる日本のウェットな強みを認識し、今後もある意味で“日本流”の自由経済を作っていく必要があるのではないかと提言されています。また、講演後は、最新刊「レインメーカー」のご紹介をいただき、その後、限られた時間ではありましたが、参加者からの質疑にも丁寧に回答いただきました。

今回はオンライン開催ではありながらも、臨場感あふれる熱意のこもったご講演をいただき、同窓生にとって、貴重な学びの機会を得ることとなりました。参加者からのアンケートでは、「経験や取材に裏打ちされたお話に感銘しました」「大学の講義で得た知的好奇心を思い出しました」といった意見が多数寄せられています。同窓生にとって有意義な講演会となりました。



## 2021年度 経済学部就職活動応援企画「メントレ」を支援！

2022年1月9日（日）、10日（祝・月）に経済学部就職活動応援企画メントレが開催されました。本企画は、「なぜ学ぶのかを考えることは、自分を考えることであり、それはなぜ働くのかにつながる」をコンセプトに、経済学部同窓会の支援のもとに実施している学部独自の就職支援イベントで9回目の開催となります。今年も本格的な就職活動を目前に控えた3回生を対象に、経済学部同窓生の皆様に2日間にわたって模擬面接やエントリーシートの作成の指導を行っていただきました。

今年度のメントレは新型コロナウイルスの感染予防の観点から、昨年度に引き続きオンライン実施となりましたが、同窓生約60名、在学生約80名が参加し、多くの同窓生と在学生が交流する機会になりました。



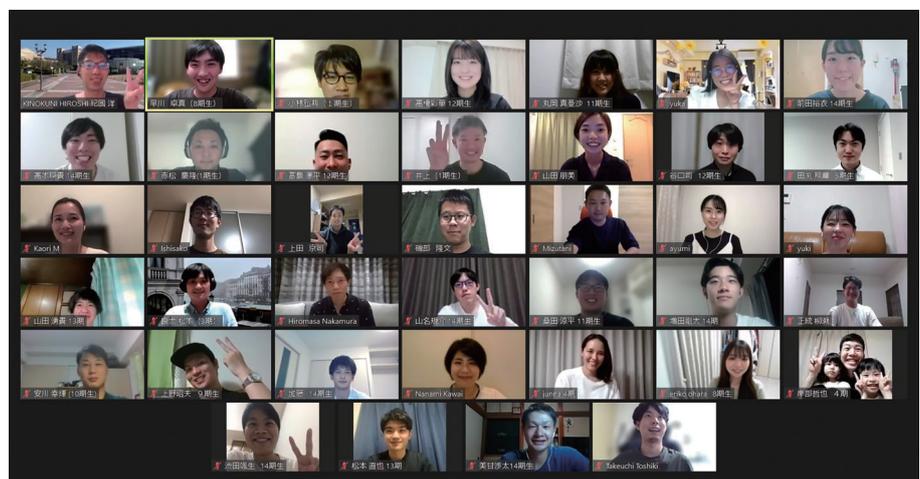
## ゼミのオンライン同窓会が開催されました！

2012年度より始まった紀國洋ゼミの同窓会。今回で9回目の開催です。昨年はコロナ禍によって開催ができませんでしたが今年はオンラインに形を変え開催することができました。司会者より開会の辞を述べ、指導教官である紀國先生より乾杯のご挨拶を賜りました。

同年代別のブレイクアウツの後、自己紹介を挟んで公務員・金融機関・製造業・サービス業などの業毎に分け、懇親を行いました。卒業生同士、同じ業界での情報交換や近況を話すことができたとともにそこに在学生も入り、興味を持つ業界の先輩方に話を聞くこともできたので卒業生・在学生にとって有意義な時間となりました。また今回はオンラインでの開催ということで例年、参加が難しかった海外や幼い子供がいらっしゃる卒業生も参加することができ、オンラインでの長所を十分に活かした回にすることができました。

会の最後のご挨拶は3期生の水谷氏が行い、盛況の中、散会となりました。

(2017年卒 早川 卓真)



## 経済学部より

### 【新任教員】（職位・50音順）

2022年4月より経済学部以下に以下の専任教員をお迎えします。

氏名	主な担当予定科目
大橋 陽 教授	アメリカ経済論
柿中 真 教授	Public Policy
栗田 但馬 教授	地方財政論
新田 耕平 准教授	行動経済学

### 【退職教員】（職位・50音順）

2022年3月末をもって以下の教員が退職されました。

氏名	専門分野
本部 勝大 准教授	行政法、企業税務論

## 同窓会事務局より

### 【『学生時代の思い出』を募集します】

皆様の学生時代の思い出や近況報告等を執筆いただき掲載する、『学生時代の思い出』を募集しております。これは、「原稿執筆者それぞれの学生時代の思い出を振り返ることにより、その時代時代の社会情勢や風潮、大学や経済学部を取り巻く環境、学生像などを顧みること」を目的に出版された『50周年の思い出』の続編にあたるものです。経済学部同窓会の皆様に、母校を懐かしく思い出してもらえるような原稿を募集したいと考えております。掲載ご希望の方は以下の要領にて事務局までお送りください。

- ① 原稿（学生時代の思い出や近況報告等、2,000字程度）
- ② 経歴（生年月日、卒業年、勤務先等、可能な範囲で結構です）
- ③ 写真（可能でしたら、学生時代と現在の2枚をメールもしくは郵送にてお送りください。）

頂戴しました原稿は、広報委員会にて内容を確認の上、経済学部同窓会HPに掲載させていただきます。

### ●同窓会費の納入方法について

同窓会は、皆様から納入された終身会費（¥10,000）で運営しています。入会を希望され、会費をまだ納入されていらっしゃらない方は、同窓会事務局までご連絡ください。

### ●住所変更について

会報の送付先の変更は、立命館大学校友会（TEL：0120-252-094、FAX：0120-252-095）までご連絡ください。同時に校友会誌「りつめい」の送付先変更もさせていただきます。



## 立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学経済学部事務室内  
TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947 E-mail:ecalumni@st.ritsumei.ac.jp  
同窓会 HP : <http://r-ecalumni.com/>